

---

# 猫と空と自分

mumo

---

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

## 注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

### 【小説タイトル】

猫と空と自分

### 【コード】

N2569P

### 【作者名】

mumo

### 【あらすじ】

元気な中1の「介」と破天荒な喋る猫「ジエーン」。

この猫との「偶然」の出会いが新たなる物語を生み出す！！

## 猫と自分と出会い（前書き）

こんにちはー！mummoです！

なんか・・・前の作品・・・あきました・・・。  
すいません。

なんか自分に合わないなと思ったんです。

すいません。

『この作品は猫がこうなればいいなという想像からできました。』

## 猫と自分と出会い

介「行つてきまゝす！」

母「行つてらっしゃい」

介は食べかけのパンをくわえたまま玄関を勢いよく飛び出した。

介「うっ……うわぁ！」

玄関を飛び出した瞬間猫に激突した。

介「だ……大丈夫？ 猫さん！」

猫「ニャー」

介「ごめんね……。急がなきゃ行けないから、じゃっ！」

猫「……。全く……。気をつけるよ……」

介は部活を終え帰宅した。玄関まで走ってきたが、立ち止まった。

介「あれ？猫さん……。またいる……」

猫「ニャーニャー」

介「家に入りたい？」

猫「ニャー」

介「ご飯食べたい？」

猫「ニャー」

介「お風呂入り」

猫「はぁ……。とつとと家に入れてくんねー？」

介「!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!!」

猫「疲れただよ……。猫のふりしての……」

介「夢だ……。これは夢だ……」

猫「ちげーよ。本当の姿をみたかったら家に入れるよ！」

介「う……。うん……。わかった！」

介は玄関の扉を開けた。

## 猫と自分と出会い（後書き）

キャラクター紹介！

介：中1のバスケット少年。元気すぎてたまに「うるさい」と言われる。まあ、そこ がいいところ。

猫：年齢不明のクール猫。クールすぎてたまに「もっと元気だせよw w」と言われる。まあ、そこ がいいところ。

## 驚きと発見と偶然（前書き）

『この作品は猫がこうなればいいなという想像からできました。』

## 驚きと発見と偶然

猫「広っ！」

介「え？猫が見てるからじゃなくて？」

猫「普通に傷ついたんだけどw」

介「あ、ごめん。」

猫は初めて人の家の中に入った

猫「すげー……」

介「そうなんだ……じゃあ今までどこに住んでたの？」

猫「そりゃあ……『猫世界』だな」

介「猫世界？」

猫「そうさ……そりゃあすごいところ……だけど、今は戦争が耐えなくて『人間世界』に逃げてきたんだ」

介「へえ……戦争をとめるには何が必要？」

猫「IQの高い『何か』が現れないとなあ……」

介「IQ？」

猫「高ければ高いほど頭がいい。」

介「いや、知ってるけどさ、今日学校でIQ検定があった」

猫「え！？それでIQの指数は!？」

介「170」

猫「はあああああああああああああああ？」

介「どうしたの？」

猫「す……げえ……」

介「え？ここら辺の町みんな頭いいけど……？」

猫「猫世界に来てくれないか!？」  
介「え？」



## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n2569p/>

---

猫と空と自分

2010年12月9日13時11分発行